

ID No.	141
研究課題名	単純ヘルペスウイルスⅠ型を用いた口腔癌のウイルス療法
研究代表者	古郷 幹彦 (大阪大学・教授)
研究組織	
受入教員	藤堂 具紀 (東京大学医科学研究所・教授)
研究分担者	中原 寛和 (大阪市立大学・准教授)
	内橋 俊大 (大阪大学・医員)
	須河内 昭成 (大阪大学・大学院生)
研究報告書	
<p>本共同研究により、第三世代がん治療用HSV-1 G47Δ がヒト口腔扁平上皮癌に対して有効であることが、<i>In vitro</i>, <i>In vivo</i>で証明された。また、マウス舌がんモデルを用いることにより、舌がん局所へのウイルス投与により頸部リンパ節転移巣への効果を示すことが示された。また、頸部リンパ節転移巣へのウイルスの流入が早期に起こることも示され、術前の原発巣へのウイルス投与が、後発頸部リンパ節転移の抑制につながり得ることも示唆された。このことは、頸部後発転移を来しやすい口腔癌の治療において、臨床応用の際に極めて有意義であることが示唆された。</p>	